

パネルセッション

「域学連携による地域づくりのこれからと GIS 活用の実例」について

概要

自治体と、大学や研究機関等が連携することで地域づくりを行っていくというコンセプトは新しいものではありません。これまでもその推進が行われてきました。その結果、成功事例やそうではない事例についての経験や知識も蓄積されてきたと思われます。

しかし、そういった経験や知識がどの程度、関係者間で共有されているかについては、方法論やフレームワークを含めて、まだ発展途上期にあるのではないかと考えられます。

本セッションでは上掲のテーマに関心のある自治体や大学、研究機関の方々を主たる対象に、これまでの活動事例や、効率的な推進のためのアイデアについてディスカッションを行うことを目的としております。その際、分野を問わず様々なデータを重ね合わせる事が可能な GIS の活用を中心とした実例や意見、提案を数多く展開することで、パネラー、参加者の双方にとって種々の気づきやヒントが得られる場となることを企図して、30 分前後を目安に、パネラーが入れ替わっていくという形を取ります。

入れ替わるパネラーは5つの枠を設定し、その枠の中で入れ替わっていくという進行となります。設定する5つの枠は「行政」、「社会・経済」、「工学・環境」、「医療」、「若者・その他」です。最初の4つの枠は域学連携において語られることの多い分野ですが、本企画では学生などの若い世代や、上記の枠にカテゴライズされない分野で活躍されている方にもご参加いただけるような枠を組み入れた構成にすることで、より柔軟で新しい視点が創発されることを企図しました。

構成

司会進行

北海道情報大学経営情報学部

向原 強 教授

藤本 直樹 准教授

パネラー

行政

室蘭市 企画財政部 ICT 推進課 丸田 之人 課長 ほか

社会・経済

札幌市立大学デザイン学部 原 俊彦 教授（前日本人口学会会長） ほか

工学・環境

北見工業大学 社会環境工学領域 早川 博 教授 ほか

医療

北海道薬科大学 地域医療薬学分野 古田 精一 教授 ほか

若者・その他

酪農学園大学特任教員 吉村 暢彦 氏 ほか